

屋久島が誇る酒造メーカーで 奥深い米麴づくりに向き合う



三岳酒造株式会社 製造

あんどう あきひと

安藤 章人 さん

- ✓ 屋久島町原集落出身
- ✓ 自動車学校の教習指導から焼酎製造へ
- ✓ 趣味は野球、二児の父

「やっぱり屋久島で暮らしたい」 生まれ育った島で、誇れる焼酎作りを仕事に

屋久島町の原集落で自動車整備工場を営む両親のもとに生まれた安藤さんは、屋久島高校を卒業後、一度宮崎県で就職します。車・バイク好きが高じて、自動車学校の会社に入社し、教習指導員の資格を取得。趣味の社会人野球で汗を流し、全国大会の「都市対抗野球大会」に出場するほどの強豪チームで活躍していたこともあると言います。仕事もプライベートも充実した日々を送っていた一方で、大人数の生徒を抱えながら、働き詰めの日々に疲れを感じ、「やっぱり屋久島で暮らしたい」と、26歳でUターン。翌年、地元の同級生と結婚し、現在は二児のお父さんです。

屋久島へ帰郷する頃から、屋久島の特産品の一つとして全国的に有名な焼酎の製造に携わることは、

自分自身の誇りになると思い、三岳酒造へ入社した安藤さん。現在、製造において重要な米麴づくりを担当します。「米麴がよければ、いい焼酎ができます。生き物が相手なので、気温や天候などによって毎回状態が異なり、奥が深いです」といきいきとした表情で話してくれました。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

体を動かすことが好きで、体力がある人に向いていると思います。一人では当然できない仕事なので、コミュニケーション能力も必要。微生物に関する知識があれば役立ちますが、入社後に実務を通して学ぶこともできます。



屋久島の森林の有効活用と 保全を目指して



屋久島森林組合 総務課長兼事業課長

てらだ ひさし

寺田 久志 さん

- ✓ 屋久島町一湊集落出身
- ✓ 屋久島の林業活性化を目指す
- ✓ 週末は集落活性化のために活動中

屋久島の森林を、 集落のにぎわいを、守っていく

屋久島町の一湊集落で生まれ育った寺田さんは、鹿児島市内の高校を卒業後、東京都庁に18年間勤め、Uターン。同級生からの誘いを機に、屋久島森林組合へ就職しました。「父がかつての営林署（現在の森林管理局）に勤めていて、これも何かの縁だなと思って」と、林業の世界へと足を踏み入れた当時を振り返ります。組合の主な仕事は、個人所有の山や国有林における間伐や植林の作業、伐採後に植林するための杉の苗木作りです。

未経験からのスタートだった寺田さんは、林業従事者のキャリアアップを支援する国の事業を活用しながら資格取得や実務経験を重ね、現在、作業に関わる進捗管理や安全管理を担っています。

また、一湊集落（一湊区）の区議会議員を務める寺田さんは、地域イベントのサポートにも尽力。港町の美味しい魚を安く食べてもらいたい、そしていずれは地元住民の働き口をつくれたらという思いで、日曜日だけオープンする「一湊食堂」を考案し、ボランティア仲間と週末も充実した日々を過ごしています。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

仕事の内容は入社してからでも習得できます。最初の3年間は何でも質問し、3年が過ぎたら知らないことがないよう、みっちり学んでください。そのためには基本的な挨拶はもちろん、コミュニケーション能力が重要です。